

# 2024年度事業報告書 及び附属明細書

自 2024(令和6)年4月 1日

至 2025(令和7)年3月31日

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2

公益財団法人 日 本 音 楽 財 団

# 目次

|  |    |
|--|----|
| I 概要 .....                             | 1  |
| II 公益目的事業「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」 ..... | 2  |
| 1. 楽器の保全 .....                         | 2  |
| 2. 楽器の貸与 .....                         | 2  |
| 3. 演奏会の開催 .....                        | 9  |
| 4. 音楽文化振興・普及のための助成 .....               | 15 |
| 5. 広報活動 .....                          | 18 |
| III 総務 .....                           | 20 |
| 1. 役員の異動 .....                         | 20 |
| 2. 理事会 .....                           | 20 |
| 3. 評議員会 .....                          | 20 |
| 4. 監事監査 .....                          | 21 |
| 5. 評議員選任委員会 .....                      | 21 |
| 6. 登記事項 .....                          | 21 |
| 7. 主務大臣(内閣府)への届出等 .....                | 21 |
| 8. 外部監査の実施 .....                       | 21 |
| 9. 広報活動「ランチタイムコンサートの開催」 .....          | 22 |
| 10. 事務局 .....                          | 23 |

## [巻末別紙]

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1. 理事・監事・評議員名簿 ..... | 24 |
| 2. 委員名簿 .....        | 25 |
| 3. 保有楽器概要 .....      | 26 |
| 4. 楽器名と被貸与者一覧 .....  | 31 |

# I 概要

日本音楽財団は、1974年3月に音楽文化の振興と普及に寄与することを目的として設立され、公益財団法人に移行した。2012年4月からは、公益目的事業「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」の下に、1.楽器の保全、2.楽器の貸与、3.演奏会の開催、4.音楽文化振興・普及のための助成の4つの柱を置いて事業を推進している。

2025年3月末現在、世界最高クラスの弦楽器21挺(ストラディヴァリウス・ヴァイオリン15挺、チェロ3挺、ヴィオラ1挺、ガールネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン2挺)を保有している。

本年度は財団設立50年、楽器貸与事業30年を記念する年であることから、「財団50年誌」の発行及び楽器を貸与している演奏家18名が一堂に会する「財団設立50周年記念コンサート」を実施した。

すべての事業は、日本財団の助成金を受けて下記のとおり実施した。

## 1. 楽器の保全

### (1) 楽器の保守管理

保有する弦楽器21挺は、当財団の指定楽器工房において定期的に修理やメンテナンスを実施した。

### (2) 楽器への保険の付保

万が一の事故に備え、保有する21挺の弦楽器は、日本の保険会社2社を通じて楽器保険を付保した。

### (3) ATA カルネ

楽器を国外へ持ち出す際には、海外の税関で免税扱いの一時輸入通関ができるATAカルネの携帯を義務付けている。

### (4) 弦楽器市場の調査

貸与事業に見合う弦楽器購入に向けて市場調査を開始した。

## 2. 楽器の貸与

保有する21挺の弦楽器は、若手有望演奏家を中心に、国籍を問わず無償で貸与している。

## 3. 演奏会の開催

本年度は、(1)演奏会の定期開催、(2)全国の自治体が保有するホールとの共同事業、(3)千葉県文化振興財団との共同事業、(4)協力事業の4つの柱のもとに8公演を計画したが、台風の影響により1公演が中止となり7公演を実施した。

## 4. 音楽文化振興・普及のための助成

非営利活動・公益事業を行う団体に対して、助成対象を「弦楽器演奏において音楽的、技術的向上を目的とする事業」、「より多くの人々に優れた弦楽器演奏を鑑賞する機会を提供する事業」を対象として公募し、事業運営委員会で採択された13事業に対して助成した。

## II 公益目的事業

### 「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」

#### 1. 楽器の保全

##### (1) 楽器の保守管理

保有する 21 挺の楽器の修理、調整等については、ストラディヴァリウス等の名器の取扱いに習熟している楽器工房を指定し実施しており、各被貸与者には、3 ヶ月に 1 回のコンディション・チェックを義務付けている。定期チェック及び修理にかかる費用は当財団が全て負担することで、楽器の修理・調整に関する記録を全て管理・保管し、楽器の状態把握に努めている。

ワシントン条約・CITES (Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora: 絶滅の恐れのある野生動植物の国際間取引規制条約) の規制により、特にアメリカ合衆国で通関ができない事例が発生していたため、当財団では全ての保有楽器に対して当財団の指定楽器工房によりワシントン条約・CITES 適用除外証明書 (Declaration of Materials) を発行し、被貸与者には楽器と共に常に携帯することを義務付けている。

保有楽器は製作後約 300 年が経過し大規模な修理が必要な楽器も出てきていることから、これに対応するため特定費用準備資金 (大規模楽器修理) を積み立てている。

##### (2) 楽器への保険の付保

保有する全ての楽器に保険を付保し、当財団が保険料の全額を支払っている。東京海上日動火災保険 (株) と三井住友海上火災保険 (株) の 2 社で楽器保険を付保した。

##### (3) ATA カルネ\*

被貸与者等が当財団保有の楽器を国外へ持ち出す際には、ATA カルネの携帯を義務付け、ATA カルネを使用して通関できない国への楽器の持ち込みを禁止している。

\*「物品の一時輸入のための通関手帳に関する条約 (ATA 条約)」に基づく一時免税通関手帳。

外国へ一時的に物品を持ち込む場合、税関で手軽に「免税扱いの一時輸入通関」ができるほか、外国への輸入税の支払や保証金が不要となる。

##### (4) 弦楽器市場の調査

楽器貸与事業に見合う弦楽器入手に向けて弦楽器の市場調査を実施した。

#### 2. 楽器の貸与

当財団は、保有する弦楽器を、国際的な活躍を目指す若手演奏家に国籍を問わず、無償で貸与している。貸与区分、貸与期間、年齢制限などの申請条件等の詳細については、下記のとおり定めている。

楽器貸与については、公式ホームページ等で応募方法を告知し、貸与申請を受け付けている。貸与期間 2 年以上の楽器貸与先「貸与区分 A 及び B」の選考は、欧・米・アジア

の有識者で構成される諮問機関である楽器貸与委員会において、毎年 1 回実施しており、本年度も申請者から提出された書類や動画は、楽器貸与委員による事前審査及び楽器貸与委員会での討議を経て、楽器貸与先を選定した。

楽器貸与委員会の審議対象外は、「貸与区分 C」のデビュー公演、周年記念公演、レコーディング等の具体的な演奏活動目的がある演奏家への 1 年以内の貸与と、「貸与区分 D」のエリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)ヴァイオリン部門優勝者の副賞としての(次期コンクール開催までの約 4 年貸与)ストラディヴァリウス 1708 年製ヴァイオリン「ハギンス」の貸与がある。

貸与期間の上限を 7 年と定めた 2018 年以前より楽器を貸与している被貸与者(旧長期貸与区分)については、演奏活動に支障が出ないよう協議の上、楽器の返却時期を決定している。

| 区分 | 貸与期間         | 貸与楽器配分の目安  | 申請条件  | 貸与決定方法             |
|----|--------------|------------|---|--------------------|
| A  | 7 年以内        | 保有楽器数の 70% | 申請年の 9 月 1 日時点で 35 歳以下の者<br>(クァルテットは、4 名の平均が 40 歳以下)                    | 楽器貸与委員会での選考を経て会長決裁 |
| B  | 3 年以内        | 保有楽器数の 15% | 日本を拠点に演奏活動している者<br>申請年の 9 月 1 日時点で 35 歳以下の者<br>(クァルテットは、4 名の平均が 40 歳以下) |                    |
| C  | 1 年以内        | 保有楽器数の 10% | 具体的な演奏活動の目的がある者<br>(例:デビュー公演・周年記念公演・レコーディング・コンクール等)                     | 会長決裁               |
| D  | 次期コンクール開催時まで | 保有楽器数の 5%  | エリザベート王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝者  |                    |

## (1) 楽器貸与委員会

事前審査を経て下記のとおり本審査を実施した。

|        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 開催日    | 2024 年 7 月 3 日(水) 13:00~16:40 |
| 場所     | 日本財団ビル内 2 階会議室(東京都港区赤坂 1-2-2) |
| 楽器貸与委員 | 巻末別紙 2 のとおり                   |
| 財団保有楽器 | 巻末別紙 3 のとおり                   |
| 審議事項   | 貸与申請について                      |
| 報告事項   | 現在の貸与状況について                   |

### < 審議結果 >

本年度はクァルテット 7 団体(28 名)、ヴァイオリン 3 名、チェロ 4 名の申請があり、下記のとおり、①クァルテット 1 団体(4 名)、②ヴァイオリン 2 名、③チェロ 2 名が選定された。

#### ①クァルテット

・Goldmund Quartet(ドイツ国籍:ミュンヘン、ヴュルツブルク在住) 貸与区分 A 期間 3 年

#### ②ヴァイオリン

・María Dueñas(スペイン国籍:ウィーン在住) 貸与区分 A 期間 1 年

- ・MINAMI(吉田南)(日本国籍:クロンベルク在住) 貸与区分 A 期間 4 年
- ③チェロ
  - ・Zlatomir Fung(アメリカ国籍・ニューヨーク在住) 貸与区分 A 期間 7 年
  - ・上野通明(日本国籍:東京、デュッセルドルフ在住) 貸与区分 A 期間 3 年

## (2) 楽器の貸与状況

本年度における保有楽器 21 挺の貸与状況は下記のとおりであり、年度末現在の貸与先は巻末別紙 4 のとおり。

### ①～④ Stradivarius “Paganini Quartet”

被貸与団体 Goldmund Quartet

- ①1680 年製 Violin Pinchas Adt(ドイツ・ミュンヘン在住)
- ②1727 年製 Violin Florian Schötz(ドイツ・ヴェルツブルク在住)
- ③1731 年製 Viola Christoph Vandory(ドイツ・ミュンヘン在住)
- ④1736 年製 Cello Raphael Paratore(ドイツ・ミュンヘン在住)

2019 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A の被貸与団体として貸与が合意され、2019 年 8 月 28 日(うち 3 名は 2019 年 9 月 27 日)より貸与を開始した。2024 年 9 月 30 日(貸与期間 5 年:うち 1 年は新型コロナウイルス感染拡大による公演中止等を考慮し貸与延長)に貸与終了予定であったが、2024 年度の楽器貸与委員会で再申請による 3 年の貸与延長が合意された。2027 年 9 月 30 日(貸与期間 7 年)まで貸与予定。当該楽器を使用した CD を 2025 年 3 月にリリースした。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計 32 回/聴衆約 16,500 名]

### ⑤ Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”

1) 被貸与者 Veronika Eberle(ドイツ・ベルリン在住)

2009 年 5 月 11 日より短期貸与(旧貸与区分)を開始し、2009 年度の楽器貸与委員会にて長期貸与(旧貸与区分)の被貸与者として承認され、2024 年 5 月 17 日(貸与期間 15 年)まで貸与した。

2) 被貸与者 前田妃奈(神奈川在住)

貸与期間 2024 年 8 月 26 日～2025 年 3 月 14 日(7 ヶ月) 演奏委託  
財団主催「ストラディヴァリウス・コンサート 2024」の代演  
(詳細は演奏会(後述)に記載)及び演奏活動のため

[当該楽器を使用した公演 合計 16 回/聴衆約 16,500 名]

### ⑥ Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”

1) 被貸与者 Suyoen Kim(ドイツ・ベルリン在住)

2014 年度の楽器貸与委員会にて長期(旧貸与区分)の被貸与者として承認され、2015 年 1 月 20 日より 2024 年 9 月 19 日(貸与期間 9 年 8 ヶ月)まで貸与した。

[当該楽器を使用した公演 合計 11 回/聴衆約 15,900 名]

2) 被貸与者 大谷康子(東京在住)

貸与期間 2024年12月16日～2025年12月15日予定(1年) 貸与区分 C  
デビュー50周年記念の演奏活動のため

コンサート活動のほか、毎週放送されているBSテレ東の音楽番組「おんがく交差点」でパーソナリティを務め、演奏を披露している。

[当該楽器を使用した公演 合計9回/聴衆約9,400名]

⑦ Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”

1) 被貸与者 Stella Chen(アメリカ・ニューヨーク在住)

2019年エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)の優勝者であり、副賞として2019年5月28日より次期コンクール開催前の2024年4月2日まで貸与した。通常4年ごとに開催されるコンクールだが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催が1年延期され、また、コロナ禍の渡航制限によりATAカルネの更新が困難となったため、2020年9月に貸与を一時中断し、日本に楽器を戻し当財団で保管した。その後の渡航制限の緩和により2022年8月17日に貸与を再開し、貸与中断期間を除き2年11ヶ月貸与した。

2) 被貸与者 Dmytro Udovychenko(ドイツ・エッセン在住)

2024年エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)の優勝者であり、副賞として2024年6月4日より次期コンクール開催前の2028年4月(貸与期間約4年)まで貸与予定。

[当該楽器を使用した公演 合計22回/聴衆約20,700名]

⑧ Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”

被貸与者 Timothy Chooi(アメリカ・フィラデルフィア在住)

2020年度の楽器貸与委員会にて貸与区分Aの被貸与者として貸与が合意されたが、コロナ禍の渡航制限により貸与開始が遅れ、2022年6月6日より貸与を開始した。2029年6月5日(貸与期間7年)まで貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計41回/聴衆約32,600名]

⑨ Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”

被貸与者 María Dueñas(オーストリア・ウィーン在住)

2019年7月12日より貸与区分CでGuarneri del Gesù 1736年製“Muntz”を1年間貸与していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による公演中止等を考慮し、貸与期間を6ヶ月間延長した。2020年度楽器貸与委員会において貸与区分Aとして、貸与区分Cの貸与終了後から4年間の貸与が合意された。その後、2022年11月16日に貸与楽器を当該楽器に変更した。2024年度の楽器貸与委員会において再申請による1年間の貸与が合意され、2026年1月11日(貸与期間3年2ヶ月、通算貸与期間計6年2ヶ月、貸与中断期間4ヶ月除く)まで貸与予定。

当該楽器を使用した CD を 2025 年 2 月にリリースした。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計 29 回/聴衆約 50,200 名]

⑩ Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”

被貸与者 Ray Chen(アメリカ・フィラデルフィア在住)

2009 年エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)優勝者であり、副賞として 2009 年 6 月 2 日から Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を貸与していたが、他団体からも楽器貸与を受けていたため、2010 年 9 月 8 日(貸与期間 1 年 3 ヶ月)で楽器貸与を中断した。その後、他団体からの貸与が終了したため長期(旧貸与区分)として 2012 年 4 月 11 日より Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”(貸与期間 2 年 2 ヶ月)、2014 年 6 月 19 日より Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”(貸与期間 5 年 4 ヶ月)を貸与。2019 年 10 月 23 日より Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh”を 2022 年 8 月 31 日まで貸与予定であったが、コロナ禍の渡航制限により ATA カルネの更新が困難となったため、2020 年 9 月に貸与を一時中断して日本に楽器を戻し、当財団で保管した。その後、渡航制限が緩和された 2022 年 9 月 5 日に当該楽器に変更し貸与を再開した。2025 年 4 月 1 日(貸与期間 2 年 7 ヶ月、通算貸与期間計 11 年 4 ヶ月、貸与中断期間 3 年 6 ヶ月を除く)まで貸与した。当該楽器を使用した CD を 2024 年 10 月にリリースした。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計 61 回/聴衆約 105,000 名]

⑪ Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”

被貸与者 外村理紗(アメリカ・ニューヨーク在住)

2021 年度の楽器貸与委員会にて貸与区分 A の被貸与者として貸与が合意され、2022 年 1 月 12 日より Jupiter を貸与していたが、2023 年 8 月 25 日に当該楽器に変更した。2027 年 1 月 11 日(当該楽器の貸与 3 年 5 ヶ月、通算貸与期間計 5 年)まで貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計 24 回/聴衆約 9,500 名]

⑫ Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”

被貸与者 MINAMI(吉田 南)(ドイツ・クロンベルク在住)

2020 年度の楽器貸与委員会にて貸与区分 B の被貸与者として貸与が合意され、2021 年 8 月 10 日に貸与を開始し、2024 年 9 月 30 日まで予定したが、2024 年度の楽器貸与委員会への再申請により貸与区分 A の被貸与者として 4 年の貸与が合意された。2028 年 9 月 30 日(貸与期間 7 年 2 ヶ月)まで貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計 18 回/聴衆約 13,800 名]

⑬ Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”



1) 被貸与者 Ji Young Lim(韓国・ソウル在住)

2015年エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)の優勝者であり、副賞として Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”を2015年6月2日より2019年3月28日(貸与期間3年10ヶ月)まで貸与した。本人より貸与延長の申請があり、2018年度の楽器貸与委員会で貸与区分Aの被貸与者として合意され、2019年3月28日より当該楽器の貸与を開始した。コロナ禍での渡航制限によりATAカルネの更新が困難となったため、2022年1月19日に貸与を一時中断して日本へ楽器を戻し、当財団で保管した。その後、渡航制限が緩和された2022年5月16日より貸与を再開し、中断した期間とコロナ禍で延期された演奏会等を考慮して2024年9月7日(貸与期間5年1ヶ月、通算期間計8年11ヶ月:貸与中断期間4ヶ月を除く)まで貸与した。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計11回/聴衆約9,200名]

2) 被貸与者 毛利文香(神奈川在住)

貸与期間 2024年10月7日～2025年10月6日(1年)予定 貸与区分C  
録音及び演奏活動のため

[当該楽器を使用した公演 合計11回/聴衆約4,800名]

⑭ Stradivarius 1722年製 Violin “Jupiter”

被貸与者 Giuseppe Gibboni(スイス・ポルツァ在住)

2023年度の楽器貸与委員会にて貸与区分Aの被貸与者として貸与が合意され、2023年10月23日より貸与を開始した。2028年10月22日(貸与期間5年)まで貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計15回/聴衆約9,000名]

⑮ Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”

被貸与者 金川真弓(ドイツ・ベルリン在住)

2022年度の楽器貸与委員会にて貸与区分Aの被貸与者として貸与が合意され、2022年9月6日より貸与を開始し、2025年9月5日(貸与期間3年)まで貸与予定。ルーマニアのブカレストで2024年9月に開催されたジョルジュ・エネスク国際コンクールのヴァイオリン部門で当該楽器を使用して優勝した。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計37回/聴衆約33,200名]

⑯ Stradivarius 1735年製 Violin “Samazeuilh”

被貸与者 Lun Li(アメリカ・ニューヨーク在住)

2022年度の楽器貸与委員会にて貸与区分Aの被貸与者として貸与が合意された。2022年9月6日より貸与を開始し、2027年9月5日(貸与期間5年)まで貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計39回/聴衆約18,000名]

⑰ Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”

被貸与者 吉本梨乃(ベルギー・ブリュッセル在住)

2022 年 11 月 16 日から 2023 年 8 月 31 日まで貸与区分 C で貸与(10 ヶ月)していたが、2023 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 B の被貸与者として貸与が合意された。2023 年 9 月 1 日より 2026 年 8 月 31 日(貸与期間 3 年:通算貸与期間 3 年 10 ヶ月)まで貸与予定。当財団の協力事業(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計 26 回/聴衆約 11,500 名]

⑱ Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”

1) 被貸与者 横坂 源(浜松在住)

貸与期間 2024 年 1 月 26 日～2024 年 12 月 16 日(11 ヶ月) 貸与区分 C  
演奏活動及び CD 録音のため

当該楽器を使用し 6 月に収録した CD を 2024 年 11 月にリリースした。

[当該楽器を使用した公演 合計 21 回/聴衆約 7,800 名]

2) 被貸与者 Zlatomir Fung(アメリカ・ニューヨーク在住)

2024 年度の楽器貸与委員会において、貸与区分 A として貸与が合意された。

2025 年 1 月 15 日より 2032 年 1 月 14 日(貸与期間 7 年)まで貸与予定。

[当該楽器を使用した公演 合計 5 回/聴衆約 1,000 名]

⑲ Stradivarius 1730 年製 Cello “Feuermann”

1) 被貸与者 Camille Thomas(フランス・パリ在住)

2019 年 9 月 24 日より貸与区分 C で貸与し、新型コロナウイルス感染拡大による公演中止等を考慮し、貸与期間を 6 ヶ月間延長した。その後、2020 年度の楽器貸与委員会において、貸与区分 A として、貸与区分 C での貸与期間終了後から 2 年の貸与が合意された。また、2022 年度の楽器貸与委員会に同氏より貸与延長の申請があり 2 年延長が合意された。2025 年 1 月 20 日(貸与期間 5 年 4 ヶ月)まで貸与した。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計 12 回(聴衆約 13,200 名)]

2) 被貸与者 上野通明(東京、ドイツ・デュッセルドルフ在住)

2024 年度の楽器貸与委員会において、貸与区分 A の被貸与者として貸与が合意された。2025 年 2 月 19 日より 2028 年 2 月 18 日(貸与期間 3 年)まで貸与予定。

⑳ Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”

被貸与者 Youjin Lee(オーストリア・グラーツ在住)

貸与期間 2024 年 6 月 28 日～2024 年 12 月 26 日(6 ヶ月) 貸与区分 C  
演奏活動のため

当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計 8 回/聴衆約 5,300 名]

②① Guarneri del Gesù 1740 年製 Violin “Ysaÿe”

被貸与者 Benjamin Beilman (アメリカ・ニューヨーク在住)

2016 年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、Stradivarius 1709 年製“Engleman”を 2016 年 12 月 7 日より 2023 年 12 月 6 日(貸与期間 7 年)まで貸与予定であったが、コロナ禍の渡航制限により ATA カルネの更新が困難なため、2020 年 9 月に貸与を一時中断した。2022 年 6 月 15 日に渡航制限が緩和され貸与を再開する際に当該楽器に変更した。また、ベルギー・ブリュッセルで開催された「イザイ展」の楽器展示に協力のため 2024 年 5 月 15 日から 6 月 7 日まで貸与を中断した。2026 年 8 月 6 日(貸与期間 4 年 1 ヶ月、通算貸与期間計 7 年 11 ヶ月、貸与中断期間 1 年 10 ヶ月を除く)まで貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演した。

[当該楽器を使用した公演 合計 55 回/聴衆約 43,200 名]

### 3. 演奏会の開催

当財団楽器の被貸与者による演奏会を下記のとおり実施した。(計画した 8 公演のうち 7 公演実施、1 公演中止)

#### (1) 演奏会の定期開催(3 公演中 1 公演中止)

「ストラディヴァリウス・コンサート 2024」

2024 年が当財団の設立 50 年、楽器貸与事業 30 年にあたるため、その記念事業として、18 挺の名器が一堂に会する「ストラディヴァリウス・コンサート 2024」を開催した。下記のとおり 3 公演を計画したが、大阪公演(2024 年 9 月 1 日)は台風の接近に伴いやむなく開催を中止したため、2 公演の実施となった。

東京公演の室内楽コンサート(2024 年 9 月 3 日)には、天皇皇后両陛下の行幸啓、愛子内親王殿下のお成りを賜わった。

名器の音色と質の高いクラシック音楽を披露し、開催地におけるクラシック音楽の振興・普及に寄与すると共に、2 公演(室内楽とオーケストラの共演)の実録 CD、DVD を制作し音楽関係者等へ配布することで当財団の事業の周知広報に努めた。

公演名 日本音楽財団設立 50 周年記念公演「ストラディヴァリウス・コンサート 2024」  
英語名: Encounter with Stradivari 2024

出演

|                   |   |
|-------------------|---|
| Goldmund Quartet  | Stradivarius “Paganini Quartet”使用       |
| Florian Schötz    | Stradivarius 1727 Violin “Paganini”使用   |
| Pinchas Adt       | Stradivarius 1680 Violin “Paganini”使用   |
| Christoph Vandory | Stradivarius 1731 Viola “Paganini”使用    |
| Raphael Paratore  | Stradivarius 1736 Cello “Paganini”使用    |
| 前田妃奈              | Stradivarius 1700 Violin “Dragonetti”使用 |
| Timothy Chooi     | Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用   |

|                  |  |
|------------------|--|
| María Dueñas     | Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”使用       |
| Ray Chen         | Stradivarius 1714 Violin “Dolphin” 使用          |
| 外村理紗             | Stradivarius 1715 Violin “Joachim” 使用          |
| MINAMI(吉田 南)     | Stradivarius 1716 Violin “Booth” 使用            |
| Ji Yong Lim      | Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”使用          |
| Giuseppe Gibboni | Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”使用           |
| 金川真弓             | Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj”使用          |
| Lun Li           | Stradivarius 1735 Violin “Samazeuilh”使用        |
| 吉本梨乃             | Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用             |
| 池田菊衛(演奏委託)       | Stradivarius 1690 Viola “Medici”使用※(9/3のみ)     |
| Camille Thomas   | Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”使用          |
| Youjin Lee       | Guarneri del Gesù 1736 Violin “Muntz”使用(9/7のみ) |
| Benjamin Beilman | Guarneri del Gesù 1740 Violin “Ysaÿe”使用        |
|                  | ストラディヴァリウス 17挺                                 |
|                  | ガールネリ・デル・ジェス 2挺                                |
|                  | ※Stradivarius 1690 Viola “Medici”はこの演奏会のため借用   |
| 江口 玲             | ピアノ(9/3のみ)                                     |
| 広上淳一             | 指揮(9/7のみ)                                      |
| 東京交響楽団           | 管弦楽(9/7のみ)                                     |

<プログラム A : 室内楽 2024年9月3日開催>

・曲目と演奏家名(演奏パート)

メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲第6番 へ短調 作品80から第1楽章  
Goldmund Quartet

コダーイ:2つのヴァイオリンとヴィオラのためのセレナード 作品12から第1楽章  
María Dueñas(第1ヴァイオリン)、Lun Li(第2ヴァイオリン)  
Christoph Vandory(ヴィオラ)

ユオン:シルエット 作品9から第1番《牧歌》、第3番《風変わり》  
Benjamin Beilman(第1ヴァイオリン)、MINAMI(吉田南)(第2ヴァイオリン)  
江口 玲(ピアノ)

モシユコフスキ:2つのヴァイオリンとピアノのための組曲ト短調 作品71から第1楽章  
Lun Li(第1ヴァイオリン)、外村理紗(第2ヴァイオリン)  
江口 玲(ピアノ)

ドヴォルザーク:ミニアチュア 作品75aから第2楽章、第3楽章  
吉本梨乃(第1ヴァイオリン)、María Dueñas(第2ヴァイオリン)  
Camille Thomas(チェロ)

ダンクラ:4つのヴァイオリンのためのファンタジー《ヴェネツィアの謝肉祭》作品119  
Timothy Chooi(第1ヴァイオリン)、Ji Young Lim(第2ヴァイオリン)  
金川真弓(第3ヴァイオリン)、Giuseppe Gibboni(第4ヴァイオリン)

メンデルスゾーン:弦楽八重奏曲変ホ長調 作品 20

Ray Chen(第1ヴァイオリン)、前田妃奈(第2ヴァイオリン)

Florian Schötz(第3ヴァイオリン)、Pinchas Adt(第4ヴァイオリン)

Christoph Vandory(第1ヴィオラ)、池田菊衛(第2ヴィオラ)※

Raphael Paratore(第1チェロ)、Camille Thomas(第2チェロ)

※この演奏のため借用(Stradivarius 1690 Viola “Medici”)

ガルデル:ポル・ウナ・カベサ(アンコール)

出演者全員

シャボラーク:ザマールベルク・マーチ(アンコール)

出演者全員

<プログラムB: 広上淳一指揮、東京交響楽団との共演 2024年9月7日開催>

・曲目、ソリスト名と楽器名

サラサーテ:バスク奇想曲 作品 24

María Dueñas

Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”使用

サラサーテ:序章とタランテラ 作品 43

金川真弓

Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj”使用

サラサーテ:スペイン舞曲第6番《サパテアード》作品 23-2

吉本梨乃

Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用

マスネ:タイスの瞑想曲

外村理紗

Stradivarius 1715 Violin “Joachim” 使用

パガニーニ:ヴァイオリン協奏曲第2番 ロ短調 作品7から第3楽章《ラ・カンパネラ》

Giuseppe Gibboni

Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”使用

チャイコフスキー:ワルツ・スケルツォ

Lun Li

Stradivarius 1735 Violin “Samazeuilh”使用

クライスラー/池辺晋一郎編:ウィーン風狂想的幻想曲

Benjamin Beilman

Guarneri del Gesù 1740 Violin “Ysaÿe”使用

モンティ:チャールダーシュ

Timothy Chooi

Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用

エルガー:弦楽のための序奏とアレグロ 作品 47

Goldmund Quartet

Stradivarius “Paganini Quartet”使用

ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲集《四季》作品 8

春 / 前田妃奈

Stradivarius 1700 Violin “Lord Newlands”使用

夏 / MINAMI(吉田 南)

Stradivarius 1716 Violin “Booth” 使用

秋 / Ji Young Lim

Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”使用

冬 / Youjin Lee

Guarneri del Gesù 1736 Violin “Muntz”使用

ブラームス:ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 作品 102 から第3楽章

Ray Chen

Stradivarius 1714 Violin “Dolphin” 使用

Camille Thomas

Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”使用

① 大阪公演 (プログラム A : 室内楽) 台風接近の影響により開催を中止

日 程 2024年9月1日(日)  
会 場 住友生命いずみホール (821席)(大阪)  
主 催 (公財)日本音楽財団  
住友生命いずみホール[(一財)住友生命福祉文化財団]  
助 成 (公財)日本財団

② 東京公演 (プログラム A : 室内楽)

日 程 2024年9月3日(火)19:00開演  
会 場 紀尾井ホール (800席)(東京)  
主 催 (公財)日本音楽財団、(公財)日本製鉄文化財団  
助 成 (公財)日本財団  
協 力 The Library of Congress、Tarisio、タカギクラヴィア(株)  
入場料 S席 8,000円 A席 6,000円 29歳以下 A席 2,000円  
入場料収入(3,356,300円)は、(公財)日本製鉄文化財団の収入  
とし、当該財団の行う公益目的事業に使われた。  
来場者数 680名(招待含む)

③ 東京公演 (プログラム B : オーケストラとの共演)

日 程 2024年9月7日(土)15:00開演  
会 場 東京オペラシティ コンサートホール (1,569席)(東京)  
主 催 (公財)日本音楽財団  
共 催 (公財)東京オペラシティ文化財団、認定 NPO 法人マギーズ東京  
助 成 (公財)日本財団  
入場料 S席 10,000円 A席 8,000円 B席 5,000円  
入場料収入(10,111,000円)は認定 NPO 法人マギーズ東京の収  
入とし、当該団体の行う公益事業に使われた。  
来場者数 1,469名(招待含む)

(2) 全国の自治体が保有するホールとの共同事業(2公演)

(公社)全国公立文化施設協会(公文協)と協力し、全国の自治体が運営するホールと  
共同し、地域におけるクラシック音楽文化の振興・普及のため、下記のとおり 2 都市で  
実施した。本事業は 2 年目となる。

実録 CD を作成し、関係者へ配布することで当財団の事業の周知広報に努めた。

公演名 「金川真弓 ヴァイオリン・リサイタル」  
出 演 金川真弓 Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj”使用  
久未 航 ピアノ  
曲 目 バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番ト長調 BWV1001  
バルトーク/セーケイ編:ルーマニア民俗舞曲 Sz.56

ブルーランジェ:2つの小曲「ノクターン」、コルテージュ(行列)」

ラヴェル:ツイガース

パガニーニ:「24のカプリース」作品1から第1番、第10番、第24番

サン＝サーンス:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ニ短調 作品75

サン＝サーンス:組曲「動物の謝肉祭」から白鳥 (アンコール)

- ④ 日程 2024年9月21日(土)14:00開演  
会場 シーハットおおむら さくらホール (500席) (長崎・大村)  
主催 (公財)日本音楽財団、(公社)全国公立文化施設協会、  
(一財)大村市文化・スポーツ振興財団  
助成 (公財)日本財団  
後援 大村市教育委員会  
入場料 大人3,500円、小中高生1,000円 当日各500円増  
シーハットクラブ会員/大人3,100円、小中高生900円  
入場料収入(594,700円)は、(一財)大村市文化・スポーツ振興財団の収入とし、当該団体の行う公益目的事業に使われた。  
来場者数 321名(ジュニアバンドを含む148名招待)

- ⑤ 日程 2024年9月23日(月・祝)14:00開演  
会場 一関文化センター 中ホール (470席) (岩手・一関)  
主催 (公財)日本音楽財団、(公社)全国公立文化施設協会、  
NPO法人一関文化会議所  
助成 (公財)日本財団  
入場料 大人4,000円、小中高生2,000円 当日各500円増  
入場料収入(651,000円)はNPO法人一関文化会議所の収入とし、主に小学生を対象としたアウトリーチ事業「地元音楽家による楽しい音楽の授業」に使われた。  
来場者数 426名(262名招待含む)

### (3) 千葉県文化振興財団との共同事業(2公演)

(公財)千葉県文化振興財団と協力し、同地域におけるクラシック音楽文化の振興・普及を目的として、下記のとおり実施した。本事業は2年目となる。

公演名 「レイ・チェン×千葉県少年少女オーケストラ」  
出演 指揮 下野竜也  
管弦楽 千葉県少年少女オーケストラ  
ソリスト Ray Chen Stradivarius 1714 Violin “Dolphin” 使用  
曲目 ニコライ:歌劇「ウインザーの陽気な女房たち」序曲  
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64  
ベートーヴェン:交響曲第3番 変ホ長調 作品55「英雄」

⑥ 日程 「千葉県少年少女オーケストラ 第29回定期演奏会」  
 2025年3月30日(日)14:00開演  
 ※前日3月29日(土)公開リハーサル実施  
 会場 千葉市民会館 大ホール (1,001席)(千葉県千葉市)  
 主催 千葉県、(公財)千葉県文化振興財団、(公財)日本音楽財団  
 助成 (公財)日本財団  
 文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
 (地域の中核劇場、音楽堂等活性化事業)、(独)日本芸術文化振興会  
 入場料 全席1,000円  
 入場料収入(715,000円)は千葉県の音楽文化振興のための公益  
 目的事業に充当される。  
 来場者数 917名(招待含む)

⑦ 日程 「レイ・チェン×千葉県少年少女オーケストラ 東京公演」  
 2025年3月31日(月)14:00開演  
 会場 サントリーホール 大ホール (2006席)(東京都港区)  
 主催 千葉県、(公財)千葉県文化振興財団、(公財)日本音楽財団  
 助成 (公財)日本財団  
 文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
 (地域の中核劇場、音楽堂等活性化事業)、(独)日本芸術文化振興会  
 入場料 一般2,000円、学生1,000円  
 入場料収入(2,686,000円)は千葉県の音楽文化振興のための公  
 益目的事業に充当される。  
 来場者数 1,905名(招待含む)

#### (4) 協力事業(1事業)

スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団創立40周年記念レセプションにおいて、ストラ  
 ディヴァリウス2挺による演奏を披露し、当財団の楽器貸与事業を周知広報した。

⑧ 公演名 スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団創立40周年記念  
 「ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート2024」  
 日程 2024年11月7日(木) コンサート 18:00~18:30  
 会場 明治記念会館 相生の間(東京都港区)  
 主催 スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団  
 協力 (公財)日本音楽財団  
 助成 (公財)日本財団  
 出演 外村理紗 Stradivarius 1715 Violin “Joachim”使用  
 MINAMI(吉田南) Stradivarius 1716 Violin “Booth”使用  
 曲目 クライスラー:レチタティーヴォとスケルツォ・カプリース  
 イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ6番 ホ長調 作品27-6



シュポア: ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲  
(2つのヴァイオリン版) 第1楽章  
ヘンデル/ ハルヴォルセン編: パッサカリア(2つのヴァイオリン版)  
シベリウス: ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲(2つのヴァイオリン版)  
(アンコール)

来場者数 約 50 名(日本・スカンジナビア関係者)

※出演者及び日本財団の協力により、前日の 11 月 6 日(水)に日本財団ビル内の勤務者を対象として「公開リハーサル」を日本財団ビル 1 階で実施した。(来場者数約 100 名)。

#### 4. 音楽文化振興・普及のための助成

「弦楽器を主とした演奏において、音楽的、技術的向上に資する事業」、「より多くの人々に優れた弦楽器演奏を鑑賞する機会を提供する事業」を対象として公式ホームページで応募方法を告知し、有識者で構成される諮問委員会である事業運営委員会で、若手弦楽器奏者育成、公益性、運営力、創造性、緊要度の 5 つの要件から総合的に判断し助成先を選定した。

年度初めに実施される事業にも対応するため、前年度中に委員会を開催している。

##### 2024 年度事業運営委員会

開催日 2024 年 3 月 6 日(水)14:00~16:40  
場所 日本財団ビル 2 階会議室(東京都港区赤坂 1-2-2)  
事業運営委員 巻末別紙 2 のとおり

##### < 審議結果 >

13 事業が採択され、6,000,000 円を助成した。

事業の詳細は下記のとおり(開催日順)。

- ① 事業名 「第 7 回スーパークラシック アンサンブル ～音楽の二大起源～」  
実施団体 堀江ファミリーコンサート  
日程 2024 年 4 月 7 日(日)  
会場 吹田市文化会館 メイシアター大ホール(大阪)  
助成額 300,000 円
  
- ② 事業名 「令和 6 年度福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー」  
実施団体 (公財)福井県文化振興事業団  
日程・会場 セミナー 全 25 回(2024 年 4 月 16 日～2025 年 3 月 23 日)  
福井県立音楽堂ハーモニーホールふくい小ホール(福井)  
音楽祭出演 2024 年 5 月 5 日(日) 石川県音楽堂交流ホール(石川)  
アウトリーチ 2024 年 11 月 24 日(日) あさむつ苑メインホール(福井)

成果発表会 2025年3月23日(日)

福井県立音楽堂ハーモニーホールふくい小ホール(福井)

助成額 400,000円

- ③ 事業名 「QUARTET BIENNALE YOKOHAMA 2024」  
実施団体 横浜楽友会  
日程 2024年4月26日(金)、5月1日(水)、5月24日(金)、5月28日(火)  
6月11日(火)、6月13日(木)、6月24日(月)、6月27日(木)  
会場 横浜市鶴見区文化センター サルビアホール音楽ホール(神奈川)  
助成額 700,000円

- ④ 事業名 「アンサンブル・ファルケ 爆奏！」  
新感覚公演 Vol.7 シェーンベルク 生誕150年記念  
新ウィーン楽派の十二音技法に迫る！レクチャー・コンサート  
実施団体 アンサンブル・ファルケ  
日程 2024年6月2日(日)  
会場 西南コミュニティーセンター(福岡)  
助成額 300,000円

- ⑤ 事業名 「訪問プログラム2024」  
実施団体 (特非)ミュージック・シェアリング  
日程 演奏会 2024年6月5日(水)～6月20日(木)  
会場 全国の小学校、特別支援学校、病院等 18施設  
助成額 800,000円

- ⑥ 事業名 「はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”演奏会2024」  
実施団体 (公財)廿日市市芸術文化振興事業団  
日程 2024年6月8日(土)  
会場 はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ小ホール(広島)  
助成額 500,000円

- ⑦ 事業名 「室内楽への招待シリーズ」  
実施団体 (公財)びわ湖芸術文化財団滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール  
日程 レクチャー・コンサート 2024年6月15日(土)  
マスタークラス 2024年9月21日(土)  
演奏会 2024年6月16日(日)、9月29日(日)  
2025年1月4日(土)、3月30日(日)  
会場 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール(滋賀)  
助成額 200,000円

- ⑧ 事業名 「古楽シリーズ 10 周年記念公演 第 2 弾 寺神戸亮×エクラタン グロリア！」  
 実施団体 コンセール・エクラタン福岡  
 日程 2024 年 6 月 29 日(土)  
 会場 西南学院大学チャペル(福岡)  
 助成額 300,000 円
- ⑨ 事業名 「Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ 2024-25」  
 実施団体 (一社) Music Dialogue  
 日程・会場 公開リハーサル  
 ① 2024 年 7 月 11 日(木) 中目黒 GT プラザホール(東京)  
 ② 2024 年 9 月 26 日(木) 中目黒 GT プラザホール(東京)  
 ③ 2024 年 12 月 12 日(木) 中目黒 GT プラザホール(東京)  
 ④ 2025 年 3 月 2 日(日) 中目黒 GT プラザホール(東京)  
 演奏会  
 ① 2024 年 7 月 15 日(月・祝) Hakuju Hall(東京)  
 ② 2024 年 9 月 29 日(日) 築地本願寺講堂(東京)  
 ③ 2024 年 12 月 15 日(日) 築地本願寺講堂(東京)  
 ④ 2025 年 3 月 5 日(水) めぐろパーシモン小ホール(東京)  
 助成額 800,000 円
- ⑩ 事業名 「第 45 回霧島国際音楽祭」  
 実施団体 (公財)ジェスク音楽文化振興会  
 日程 マスタークラス(10 クラス 108 名参加)、コンサート(37 公演)  
 2024 年 7 月 19 日(金)～8 月 4 日(日) 鹿児島県内各地  
 会場 霧島国際音楽ホール「みやまコンセール」(鹿児島)他  
 助成額 300,000 円
- ⑪ 事業名 「プロジェクト Q・第 22 章～若いクアルテット、モーツァルトに挑戦する」  
 実施団体 プロジェクト Q 実行委員会  
 日程 公開マスタークラス 2024 年 9 月 26 日(木)、10 月 28 日(月)、  
 11 月 9 日(土)、11 月 23 日(土・祝)、11 月 29 日(金)  
 トライアル・コンサート 2025 年 2 月 24 日(月・祝)、2 月 25 日(火)、  
 3 月 14 日(金)  
 本公演 2025 年 3 月 30 日(日)  
 会場 東京音楽大学、TCM ホール他(東京)  
 助成額 400,000 円
- ⑫ 事業名 「ことばとこんとらばす そのに –コントラバスと名付けられた言葉–」  
 実施団体 こんどらベースオブアーツ  
 日程 2025 年 2 月 17 日(月)

会 場 杉並公会堂小ホール(東京)  
助成額 300,000 円

- ⑬ 事業名 「オーケストラの日 2025」  
実施団体 (公社)日本オーケストラ連盟  
日 程 2025年3月31日(月)  
会 場 東京文化会館大ホール及び小ホール(東京)  
助成額 700,000 円

## 5. 広報活動

当財団の活動を広く周知するため、以下のような広報活動を展開している。

- (1) 財団パンフレット(日英併記)を作成し、関係する演奏会の会場などで広く一般に配布している。
- (2) ホームページや SNS(日英併記)にて、財団の事業活動全般について紹介している。
- (3) 財団主催演奏会の実録 CD 等を制作し、国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布、また演奏会動画の一部を当財団 YouTube サイトで配信している。  
本年度の CD、DVD 制作及び動画配信等は、以下のとおり。
  - ① 「ストラディヴァリウス・コンサート 2024」実録 CD、DVD 制作及び一部演奏を当財団 YouTube サイトで配信 (2024年9月3日、9月7日東京収録)
  - ② 全国公立文化施設協会(公文協)との共同事業  
「金川真弓 ヴァイオリン・リサイタル」実録 CD 制作及び一部演奏を当財団 YouTube サイトで配信 (2024年9月23日一関収録)
- (4) 楽器被貸与者との間で締結している貸与契約書に以下の内容を明記し、当財団が実施する事業の周知・広報に協力を得ている。
  - ① 被貸与者は、報道機関のインタビューや演奏会プログラムで、貸与楽器の名称及び当該楽器が当財団から貸与されていること的事实を周知・広報する。
  - ② 貸与楽器による演奏が、CD、動画等の形で制作されるときは、被貸与者は、貸与楽器の名称及び当該楽器が当財団から貸与されていること的事实を当該制作物に明確に表示する。
  - ③ 被貸与者は、年に1度、3月末日までに前年4月からの演奏会(開催日、開催場所、演奏曲目、入場者数等)、CD、動画等制作に関する活動内容報告書を当財団に提出する。最近では、動画配信が個人でも簡易にできることから、CD制作よりも貸与楽器を使用して、それぞれ各自の YouTube サイト等で演奏動画を公開している傾向にある。  
本年度の被貸与者による貸与楽器を使用した CD リリースは以下のとおり。



### III 総務

#### 1. 役員の変動

2024年6月19日開催の評議員選任委員会において任期満了に伴う評議員10名が選任され(重任5名、新任5名)、2024年6月25日付で就任した。また任期満了に伴う理事、監事の選任は、2024年6月25日開催の定時評議員会において理事10名、監事2名が選任され(理事重任7名、理事新任3名、監事重任1名、監事新任1名)、同日付で就任した。なお、同日開催の第2回理事会において代表理事1名、業務執行理事2名(うち1名常務理事)を選定した。

2024年6月25日付で海老澤敏理事、児玉幸治評議員、畠山向子評議員、垣見隆監事がそれぞれ任期満了により退任した。

年度末現在の理事・監事・評議員の名簿は巻末別紙1のとおり。

#### 2. 理事会

本年度は、理事会を下記のとおり3回開催した。

##### 2024年度第1回理事会

開催日 2024年6月10日(月)14:00~15:00

場所 日本財団ビル2階会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

議決事項 第1号議案 2023年度事業報告及び収支決算について

##### 2024年度第2回理事会

開催日 2024年6月25日(火)15:00~15:30

場所 日本財団ビル2階会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

議決事項 第1号議案 代表理事(会長、理事長)、業務執行理事2名  
(うち1名は常務理事)の選定について

第2号議案 評議員会の招集について

##### 2024年度第3回理事会

開催日 2025年3月7日(金)13:30~14:30

場所 日本財団ビル2階会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

議決事項 第1号議案 2025年度事業計画及び収支予算について  
付帯決議案

事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する

収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する

第2号議案 定時評議員会の招集について

#### 3. 評議員会

本年度は、評議員会を下記のとおり2回開催した。

## 2024年度定時評議員会(決議の省略)

決議があったとみなされた日時 2024年6月25日(火)12:00

議決事項 第1号議案 2023年度事業報告及び収支決算について  
第2号議案 任期満了に伴う理事、監事の選任について  
第3号議案 非常勤代表理事及び常勤理事の報酬について

## 2024年度臨時評議員会

開催日 2025年3月7日(金)15:00~16:00

場所 日本財団ビル2階会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

議決事項 第1号議案 「理事、監事及び評議員に対する報酬等支給基準」の一部改正について  
第2号議案 2025年度事業計画及び収支予算について  
付帯決議案  
事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する  
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する

## 4. 監事監査

2023年度事業報告及び収支決算について監事監査を行った。

開催日 2024年5月28日(火)16:00~17:00

場所 日本音楽財団内会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

## 5. 評議員選任委員会

任期満了に伴う次期評議員の10名を選任した。

開催日 2024年6月19日(水)16:00~16:50

場所 日本音楽財団内会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

## 6. 登記事項

2024年6月27日 理事(1名削除、3名追加)、監事(1名削除、1名追加)、  
評議員(2名削除、5名追加)の登記変更

## 7. 主務大臣(内閣府)への届出等

2024年6月27日 2023年度事業報告書及び収支決算書提出

2024年7月24日 理事、監事、評議員の登記事変更届

2025年3月21日 2025年度事業計画書及び収支予算書届  
「理事、監事及び評議員に対する報酬等支給基準」の一部改正届

## 8. 外部監査の実施

永和監査法人に監査を委託し、期中監査を2025年3月19日に、期末監査を2025年4月25日、5月12日、22日に実施した。

## 9. 広報活動 「ランチタイムコンサートの開催」

当財団事業の広報を目的として、若手演奏家の演奏機会の提供と育成、地域の音楽文化の振興・普及に繋がるようにランチタイムコンサートを開催している。

来場者にとっては、生演奏を身近で体感でき、様々な楽器やジャンルの音楽に触れあえる機会となっており、好評を得ている。

出演者は一般公募とし、提出された書類と動画審査により、選定会議にて決定している。本年度は下記のとおり 20 公演を実施し、計 1,881 名が来場した。

日 程 毎月第 2、第 4 水曜日 12:10～12:50

場 所 日本財団バウルーム(東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 1 階ロビー)

- ① 2024 年 4 月 10 日(水) 来場者数 92 名  
「スプリングコンサート」  
山田香子(ヴァイオリン)、池邊啓一郎(ピアノ)
- ② 2024 年 4 月 24 日(水) 来場者数 80 名  
「フ란ツ・リスト『鍵盤の魔術師』といわれた作曲家」  
清水弘治(ピアノ)
- ③ 2024 年 5 月 8 日(水) 来場者数 88 名  
「春に寄せるフランスの薫り」  
福田ひろみ(ヴァイオリン)、大越崇史(ピアノ)
- ④ 2024 年 5 月 22 日(水) 来場者数 97 名  
「クラシック×ジャズ ～ジャズを取り入れた作曲家たち～」  
原田千明(ピアノ)
- ⑤ 2024 年 6 月 12 日(水) 来場者数 93 名  
「初夏に聴く、3 人の「ロマン」」  
櫻庭稜太(ピアノ)
- ⑥ 2024 年 6 月 26 日(水) 来場者数 130 名  
「ピアノトリオ名曲コンサート」  
齋藤尚子(ピアノ)、鈴木由理香(ヴァイオリン)、桑山優美音(チェロ)
- ⑦ 2024 年 7 月 10 日(水) 来場者数 90 名  
「物語のある名曲をお届け」  
山崎綾子(ピアノ)
- ⑧ 2024 年 7 月 24 日(水) 来場者数 78 名  
「ピアノでロマンス」  
土橋礼佳(ピアノ)
- ⑨ 2024 年 10 月 9 日(水) 来場者数 88 名  
「ヴァイオリン×ピアノ 名曲コンサート」  
大久保初音(ヴァイオリン)、永田結衣子(ピアノ)
- ⑩ 2024 年 10 月 23 日(水) 来場者数 88 名  
「種々の編曲作品」  
中原豪志(ピアノ)



- ⑪ 2024年11月13日(水) 来場者数 98名  
「5歳からできる！？サクソフォンの魅力」  
柳下柚子(サククス)、羽石道代(ピアノ)
- ⑫ 2024年11月27日(水) 来場者数 105名  
「光と影の織りなすフランス音楽」  
藤澤亜里紗(ピアノ)
- ⑬ 2024年12月11日(水) 来場者数 116名  
「冬に贈る歌とピアノの調べ」  
松田 健(テノール)、伊藤那実(ピアノ)
- ⑭ 2024年12月25日(水) 来場者数 106名  
「Suite ～サクソフォンの響きと共に～」  
**Seras Saxophone Quartet**  
海老原美保(ソプラノ・サクソフォン)、外崎 遥(アルト・サクソフォン)  
立畠花音(テナー・サクソフォン)、宮楠菜穂(バリトン・サクソフォン)
- ⑮ 2025年1月8日(水) 来場者数 78名  
「新春に楽しむ邦楽」  
日吉章吾(箏・三味線)
- ⑯ 2025年1月22日(水) 来場者数 102名  
「ヴァイオリン&ピアノ 名曲コンサート」  
大久保初音(ヴァイオリン)、瀬尾愛永(ピアノ)
- ⑰ 2025年2月12日(水) 来場者数 95名  
「クラリネットで辿るアメリカの音楽」  
玉野井ゆき(クラリネット)、原田 ひかり(ピアノ)
- ⑱ 2025年2月26日(水) 来場者数 92名  
「フランス、パリに魅入られて」  
中島朱理(ピアノ)
- ⑲ 2025年3月12日(水) 来場者数 75名  
「ピアノで紡ぐ詩」  
塩木ももこ(ピアノ)
- ⑳ 2025年3月26日(水) 来場者数 90名  
「心おどる♪クラシックサクソフォン！」  
**Modétro Saxophone Ensemble**  
飯塚恭平(ソプラノ・サクソフォン)、西田 剛(アルト・サクソフォン)  
森田奈旺(テナー・サクソフォン)、歌頭 諒(バリトン・サクソフォン)

## 10. 事務局

事務所を東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5階に置き、業務を遂行した。  
年度末現在の事務局役職員数は常勤役員 2名、常勤職員 7名、計 9名である。

以上

理事・監事・評議員名簿

(2025年3月31日現在、敬称略)

|      |        |                                   |
|------|--------|-----------------------------------|
| 会 長  | 海老沢 勝二 | (代表理事)                            |
| 常務理事 | 加納 民夫  | 常勤 (業務執行理事)                       |
| 理 事  | 石川 礼子  | 常勤 (業務執行理事)                       |
| 理 事  | 伊東 信一郎 | ANA ホールディングス(株)特別顧問               |
| 理 事  | 門 野 泉  | 清泉女子大学名誉教授<br>(公財)東京財団政策研究所理事長    |
| 理 事  | 河村 潤子  | 国立教育政策研究所名誉所員<br>(独)日本芸術文化振興会顧問   |
| 理 事  | 澤 和 樹  | ヴァイオリニスト<br>(公財)文化財保護・芸術研究助成財団理事長 |
| 理 事  | 長木 誠司  | 東京大学名誉教授、音楽評論家                    |
| 理 事  | 野平 一郎  | 作曲家、ピアニスト、東京音楽大学学長                |
| 理 事  | 福井 俊彦  | 元日本銀行総裁<br>(一財)キャノングローバル戦略研究所理事長  |
| 監 事  | 石倉 康弘  | (公財)日本科学協会常務理事                    |
| 監 事  | 吉村 貞彦  | 公認会計士                             |
| 評議員  | 相川 直樹  | 慶應義塾大学名誉教授                        |
| 評議員  | 岩野 裕一  | (株)実業之日本社代表取締役社長<br>音楽ジャーナリスト     |
| 評議員  | 尾形 武寿  | (公財)日本財団理事長                       |
| 評議員  | 小松 弥生  | (独)国立美術館東京国立近代美術館館長               |
| 評議員  | 佐藤 隆文  | 元金融庁長官                            |
| 評議員  | 白石 美雪  | 音楽学者、音楽評論家、武蔵野美術大学教授              |
| 評議員  | 藤井 宏昭  | (独)国際交流基金顧問                       |
| 評議員  | 牧野 陽子  | 成城大学名誉教授                          |
| 評議員  | 村上 典吏子 | 映像プロデューサー、放送作家                    |
| 評議員  | 芳野 まい  | (一社)安東美術館理事<br>NHK ラジオフランス語講座講師   |

## 委員名簿

(2025年3月31日現在、敬称略)

## 楽器貸与委員 (欧州・米国・アジアの代表で構成)

|       |                                       |  |
|-------|---------------------------------------|--|
| 委員長   | 原田 幸一郎                                | ヴァイオリニスト、桐朋学園大学特命教授<br>東京音楽大学特任教授<br>マンハッタン音楽院ファカルティ |
| 委員長代行 | イヴァン・デ・ラオノア<br>Yvan de Launoit        | エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)<br>副理事長                      |
| 委員    | 池辺 晋一郎                                | 作曲家、東京音楽大学名誉教授                                       |
| 委員    | アイダ・カヴァフィアン<br>Ida Kavafian           | ヴァイオリニスト、ヴィオリスト、<br>カーティス音楽院ヴァイオリン学科長                |
| 委員    | キム・カシュカシヤン<br>Kim Kashkashian         | ヴィオリスト、ニューイングランド音楽院室内楽教授<br>ミュージック・フォー・フード芸術監督       |
| 委員    | クライブ・ギリンソン<br>Clive Gillinson         | カーネギーホール総支配人兼芸術監督                                    |
| 委員    | ドミトリー・シトコヴェツキー<br>Dmitry Sitokovetsky | ヴァイオリニスト、指揮者、編曲家                                     |
| 委員    | ジョナサン・ノット<br>Jonathan Nott            | 指揮者  |
| 委員    | 藤原 真理                                 | チェリスト  |

## 事業運営委員

|     |        |   |
|-----|--------|---|
| 委員長 | 小倉 多美子 | 音楽ジャーナリスト、武蔵野音楽大学講師                     |
| 委員  | 金子 建志  | 音楽評論家                                   |
| 委員  | 柴田 俊一  | 日本芸術文化振興会非常勤プログラムオフィサー<br>元 NHK プロデューサー |
| 委員  | 柴辻 純子  | 音楽評論家                                   |
| 委員  | 那須田 孜  | 音楽評論家                                   |

## 保有楽器概要

(2025年3月31日現在)

### **Stradivarius "Paganini Quartet" 「パガニーニ・クアルテット」**

1680年製 Violin

1727年製 Violin

1731年製 Viola

1736年製 Cello

アントニオ・ストラディヴァリ(1644～1737)製作による楽器で構成されたクアルテットは、世界で6セットの存在が知られている。このクアルテットはそのひとつであり、19世紀の伝説的なヴァイオリニスト、ニコロ・パガニーニ(1782～1840)が所有していたことで有名である。

当財団は1994年4月にアメリカ・ワシントンD.C.のコーコラン美術館よりこのクアルテットを購入した。同美術館にこのクアルテットを寄贈した米国のアンナ・E・クラーク夫人の意志を受け継ぎ、当財団は4挺を常にセットとして四重奏団に貸与している。

### **Stradivarius 1700年製 Violin "Dragonetti" 「ドラゴネッティ」**

ネックの部分が製作当時のものが使用されているとても貴重な楽器である。イタリアの著名なコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ(1763～1846)によって大切に所有されていたことから、現在この名前と呼ばれている。ドラゴネッティは、コントラバス、ヴァイオリン、チェロ、ハープ、ギター等を収集していたことでも知られている。当財団の購入直前には、世界的に名の知られているヴァイオリン奏者、フランク・ペーター・ツィンマーマン(1965～ )によって演奏されていた。

2002年6月に購入した。

### **Stradivarius 1702年製 Violin "Lord Newlands" 「ロード・ニューランズ」**

イギリスのニューランズ卿(1825～1906)によって生涯大切にされていたため、現在この名前と呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのW.E.ヒル&サンズが、1973年に英国バースの古楽器名器展にて、当時の同店を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン(1920～2001)は、自身が所有しているガアルネリ・デル・ジェスと同じパワーを感じると語ったという。

2002年6月に購入した。

### **Stradivarius 1708年製 Violin "Huggins" 「ハギンス」**

有名な製作者で楽器商のジャック＝バティスト・ヴィヨームがかつて所有していた。1880年頃、ウィーンの楽器商ザックがW.E.ヒル&サンズに売却し、その後、イギリスの天文学者ウィリアム・ハギンス卿(1824～1910)が購入し、生涯所有していたことから

「ハギンス」と呼ばれている。色艶も鮮やかで保存状態に優れている。当財団は1997年からベルギーのエリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次期コンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。

1995年3月に購入した。

#### **Stradivarius 1709 年製 Violin "Engleman" 「エングルマン」**

アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約150年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。当財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で臨床医学博士のエフレイム・エングルマンが所有していたことから、現在はこの名前で親しまれている。

1996年12月に購入した。

#### **Stradivarius 1710 年製 Violin "Camposelice" 「カンポセリーチェ」**

1880年代にフランスのカンポセリーチェ公爵の手に渡ったことから「カンポセリーチェ」と呼ばれている。彼は優れたアマチュア演奏家で楽器収集家でもあった。1937年には、クレモナ古楽器名器展に当時この楽器を所有していたキューネ博士のコレクションとして展示された。当財団が購入する前は、30年間以上ベルギーのアマチュア奏者のもとで大切に保管されていた。

2004年9月に購入した。

#### **Stradivarius 1714 年製 Violin "Dolphin" 「ドルフィン」**

1860年代にこの楽器を所有していたジョージ・ハートは、光沢の美しい裏板のニスと華麗な見栄えが、優美なイルカが光り輝いている様を思わせることから「ドルフィン」という名前を付けた。音色並びに楽器の保存状態が優れており、1715年製「アラード」、1716年製「メシア」に並ぶストラディヴァリウスの三大名器の1つとされている。また、巨匠ヤッシャ・ハイフェッツ(1901～1987)が愛用していたことでも知られている。

2000年2月に購入した。

#### **Stradivarius 1715 年製 Violin "Joachim" 「ヨアヒム」**

ハンガリー出身の名ヴァイオリン奏者ヨーゼフ・ヨアヒム(1831～1907)が所有していたストラディヴァリウス1715年製ヴァイオリン3挺の内の1つである。また、ヨアヒムからヴァイオリンのレッスンを受けていた彼の兄弟の孫娘アディラ・ダラーニ(d'Aranyi)に遺贈されたことから「ヨアヒム=アラーニ: Joachim-Aranyi」という名前でも知られている。当財団が購入するまでは、アディラの遺族によって代々受け継がれてきた。

2000年9月に購入した。

### **Stradivarius 1716 年製 Violin "Booth" 「ブース」**

1855年頃にイギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられている。彼女はヴァイオリンの才能を発揮した2人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクァルテットを形成しようと試み、フランスの高名な製作者で楽器商のジャン＝バティスト・ヴィヨーム(1798～1875)からこの楽器を購入した。1931年にアメリカの名高いヴァイオリン奏者ミッシェル・ミシヤコフ(1896～1981)の手にわたり、1961年にはニューヨークのヘンリー・ホッティンガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。

1999年1月に購入した。

### **Stradivarius 1717 年製 Violin "Sasserno" 「サセルノ」**

1845年からフランスのサセルノ伯爵が所有していたことからこの名前と呼ばれている。1894年にはヴァイオリン奏者のオットー・ペイニガーが所有し、その後にイギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスの手に渡った。1906年にはイギリスの産業資本家ヘンリー・サマーズが所有し、以後93年間にわたり同家で大切に保管されていたことから、オリジナルのニスが多く残っており保存状態が非常に優れている。

1999年5月に購入した。

### **Stradivarius 1722 年製 Violin "Jupiter" 「ジュピター」**

1800年頃にイギリスの収集家ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。この楽器は大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナルのニスも全体に残っている。歴代の所有者にはカンポセリーチェ公爵のほかにはW.E.ヒル&サンズ、アマチュア奏者で臨床医学博士のエフレイム・エンブレマンが含まれる。

1998年5月に購入した。

### **Stradivarius 1725 年製 Violin "Wilhelmj" 「ウィルヘルミ」**

1866年以降、約30年間この楽器を所有していたドイツの著名なヴァイオリン奏者アウグスト・ウィルヘルミ(1845～1908)に因んでこの名前が付けられた。ウィルヘルミの所有していた数多くのヴァイオリンのうち最も愛用されていた楽器だったが、「演奏者としてベストなうちに引退したい」との理由で、50代の若さで楽器を手放したという。とても美しいストラディヴァリウスの代表的な作品で、音色も高く評価されている。ウィルヘルミは、バッハの管弦楽作品を編曲した「G線上のアリア」でも知られている。

2001年6月に購入した。

### **Stradivarius 1735年製Violin "Samazeuilh" 「サマズイユ」**

1836年、楽器商のルイジ・タリシオ(1796～1854)によってイタリアからフランスへ持

ち込まれ、1909年にはサマズィユ家が所有していたことから「サマズィユ」と呼ばれている。1923年に楽器を所有することになったヴァイオリンの巨匠ミッシェ・エルマン(1891～1967)は「ストラディヴァリウスの中で最高の音色を持つ楽器の1つ」と1926年に手紙に記している。楽器の内側のラベルには製作者の年齢である91歳と書かれている。

2017年8月に日本の篤志家からの寄付と日本財団からの助成により購入した。

### **Stradivarius 1736年製 Violin "Muntz" 「ムンツ」**

楽器の内側に貼られたラベルには、ストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92(92歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスで楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874年以降、英国バーミンガムの有名な収集家でアマチュアのヴァイオリン奏者のH.M.ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器の1つとして知られている。

1997年7月に購入した。

### **Stradivarius 1696年製 Cello "Lord Aylesford" 「ロード・アイレスフォード」**

イギリスのアマチュア奏者アイレスフォード卿が1780年代初期にイタリアの名高いヴァイオリン奏者フェリーチェ・デ・ジャルディーニ(1716～1796)から購入し、その後アイレスフォード家に約100年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946年にはアメリカ・フィラデルフィアに住んでいた世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー(1903～1976)の手に渡り、1950年から1965年には巨匠ヤーノシュ・シュタルケル(1924～2013)によって演奏会や35枚のレコーディングのために使用された。

2003年6月に購入した。

### **Stradivarius 1730年製 Cello "Feuermann" 「フォイアマン」**

アントニオ・ストラディヴァリが製作したチェロのうち、現存するのは約50挺といわれている。「フォイアマン」は、普通のチェロと比べ楽器本体の部分が細長い点が特徴である。世界的に活躍した名チェロ奏者のエマヌエル・フォイアマン(1902～1942)が1939年から亡くなるまで世界各地で録音、演奏に使用したことから、この名前と呼ばれている。

1996年12月に購入した。

### **Guarneri del Gesù 1736年製 Violin "Muntz" 「ムンツ」**

アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・グアルネリ(グアルネリ・デル・ジェス)(1698～1744)が製作したヴァイオリン。内側に貼られたラベルには「Joseph Guarnerius fecit Cremona anno 1736」と書かれている。1736年製の

ストラディヴァリウス・ヴァイオリンも所有していたイギリスのアマチュア奏者で収集家のムンツが一時期所有していたことから、この名前で親しまれている。保存状態の優れた楽器である。

1995年3月に購入した。

### **Guarneri del Gesù 1740 年製 Violin "Ysaÿe" 「イザイ」**

ベルギーを代表する世界的ヴァイオリン奏者で作曲家、ウジェーヌ・イザイ(1858～1931)が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中には小さなラベルが貼られ、赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ1928」とフランス語で書かれており、イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進した。その後、1965年に巨匠アイザック・スターン(1920～2001)の所有となり、1998年に当財団がこの楽器をスターンから購入した後も、当財団は演奏委託したので彼は生涯にわたり愛用した。

1998年3月に購入した。

以上、当財団は、ストラディヴァリウス・ヴァイオリン15挺、ストラディヴァリウス・ヴィオラ1挺、ストラディヴァリウス・チェロ3挺、グアルネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン2挺の合計21挺の弦楽器を保有している。



楽器名と被貸与者一覧

別紙 4

2025年3月31日現在

| 楽器名 | 被貸与者 | 備考 |
|-----|------|----|
|-----|------|----|

貸与区分A(貸与期間満7年以内)、B(貸与期間満3年以内)、貸与期間1年以上(旧長期貸与:貸与区分記載なし)

|    |  |                        |  |
|----|--|------------------------|--|
|    | Stradivarius "Paganini Quartet"            | Goldmund Quartet       |  |
| 1  | 1680年製 Violin "Paganini"                   | Pinchas Adt (Mr)       | ミュンヘン在住<br>貸与区分A   |
| 2  | 1727年製 Violin "Paganini"                   | Florian Schötz (Mr)    | ヴェルツブルク(ドイツ)在住<br>貸与区分A  |
| 3  | 1731年製 Viola "Paganini"                    | Christoph Vandory (Mr) | ミュンヘン在住<br>貸与区分A   |
| 4  | 1736年製 Cello "Paganini"                    | Raphael Paratore (Mr)  | ミュンヘン在住<br>貸与区分A   |
| 5  | Stradivarius 1709年製 Violin "Engleman"      | Timothy Chooi (Mr)     | フィラデルフィア在住<br>貸与区分A  |
| 6  | Stradivarius 1710年製 Violin "Camposelice"   | María Dueñas (Ms)      | ウーエン在住 貸与区分A<br>2017/7/12よりdel Gesu Muntz貸与<br>2022/11/16よりCamposelice貸与   |
| 7  | Stradivarius 1714年製 Violin "Dolphin"       | Ray Chen (Mr)          | フィラデルフィア在住<br>2009年エリザベートコンクール優勝Huggins貸与<br>(2009/6/2-2010/9/8)<br>2012/4/11よりLord Newlands貸与<br>2014/6/19よりJoachim貸与<br>2019/10/23よりSamazeuilh貸与<br>2022/9/5より Dolphin貸与 |
| 8  | Stradivarius 1715年製 Violin "Joachim"       | 外村理紗 (Ms)              | ニューヨーク在住(東京出身) 貸与区分A<br>2022/1/12-2023/8/25<br>2023/8/25よりJoachim貸与  |
| 9  | Stradivarius 1716年製 Violin "Booth"         | MINAMI (吉田 南) (Ms)     | クロンベルク(ドイツ)在住(奈良出身)<br>貸与区分A   |
| 10 | Stradivarius 1722年製 Violin "Jupiter"       | Giuseppe Gibboni (Mr)  | ボルツァ(スイス)在住<br>貸与区分A   |
| 11 | Stradivarius 1725年製 Violin "Wilhelmj"      | 金川真弓 (Ms)              | ベルリン在住(東京出身)<br>貸与区分A  |
| 12 | Stradivarius 1735年製 Violin "Samazeuilh"    | Lun Li (Mr)            | ニューヨーク在住<br>貸与区分A  |
| 13 | Stradivarius 1736年製 Violin "Muntz"         | 吉本梨乃 (Ms)              | ブリュッセル在住(兵庫出身)<br>貸与区分B  |
| 14 | Stradivarius 1696年製 Cello "Lord Aylesford" | Zlatomir Fung (Mr)     | ニューヨーク在住<br>貸与区分A  |
| 15 | Stradivarius 1730年製 Cello "Feuermann"      | 上野通明 (Mr)              | 東京・デュッセルドルフ(ドイツ)在住<br>貸与区分A  |
| 16 | Guarneri del Gesù 1740年製 Violin "Ysaÿe"    | Benjamin Beilman (Mr)  | ニューヨーク在住<br>2016/12/7よりEngleman貸与<br>2022/6/6よりYsaÿe貸与   |

貸与区分C(周年記念コンサート、コンクール出場、録音目的等のための貸与)

|    |  |           |                          |
|----|--|-----------|--------------------------|
| 17 | Stradivarius 1700年製 Violin "Dragonetti"    |           | 貸与終了後、指定楽器商でメンテナンス中      |
| 18 | Stradivarius 1702年製 Violin "Lord Newlands" | 大谷康子 (Ms) | 東京在住<br>デビュー50周年記念演奏会のため |
| 19 | Stradivarius 1717年製 Violin "Sasserno"      | 毛利文香 (Ms) | 神奈川在住<br>レコーディング、演奏活動のため |
| 20 | Guarneri del Gesù 1736年製 Violin "Muntz"    |           | 貸与が終了し、財団内で保管中           |

貸与区分D(エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)優勝者への次期コンクール開催までの貸与)

|    |                                      |                         |                                    |
|----|--------------------------------------|-------------------------|------------------------------------|
| 21 | Stradivarius 1708年製 Violin "Huggins" | Dmytro Udomychenko (Mr) | エッセン(ドイツ)在住<br>2024年エリザベートコンクール優勝者 |
|----|--------------------------------------|-------------------------|------------------------------------|

長期:区分A、B等16挺、短期:区分C4挺、コンクール:区分D 1挺 現在保有楽器 計21挺

上記のとおり2024年度事業報告書及び附属明細書を提出いたします。

2025(令和7)年5月30日

公益財団法人 日本音楽財団

会 長 海 老 沢 勝 二

①

2024年度事業報告書及び附属明細書を監査した結果、適正かつ妥当であると認めます。

2025(令和7)年5月30日

監 事 石 倉 康 弘

①

監 事 吉 村 貞 彦

①